

平成25年度 第1回 山梨県地域医療支援センター運営委員会

平成25年8月28日
山梨大学医学部管理棟 会議室

【議 題】

1. 山梨県地域医療支援センター 設立の経緯
2. 平成25年度地域医療支援センターに係る情報交換会報告
3. 山梨県地域医療支援センターの取り組み
4. 今後の課題
 - － 医学修学資金貸与者への対応
 - － 総合診療養成プログラム

1. 地域医療支援センターの設立の経緯等

山梨県福祉保健部医務課

地域医療支援センター運営経費

平成25年度予算(案)9.6億円 (平成24年度予算 7.3億円)
(30箇所) (20箇所)

医師の地域偏在(都市部への医師の集中)の背景

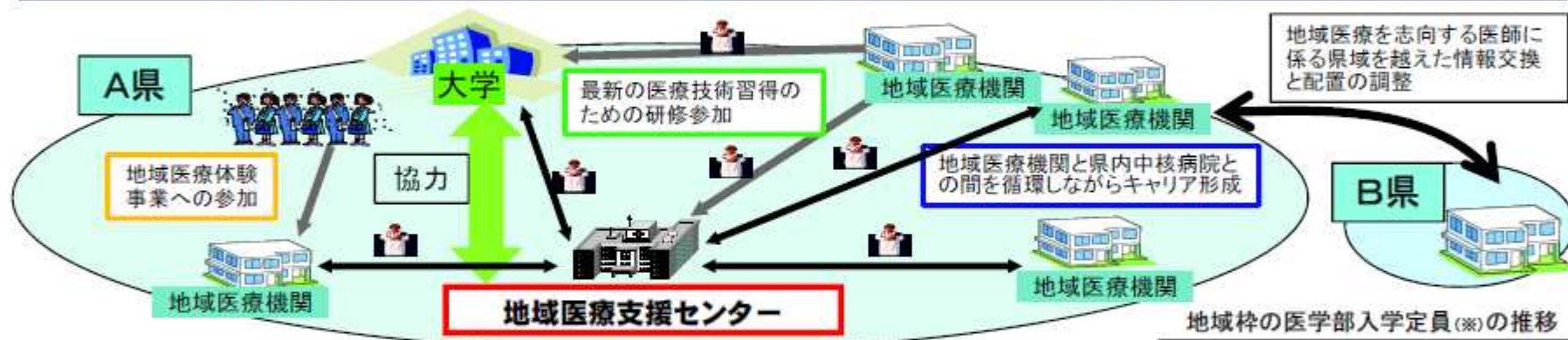
➢ 高度・専門医療への志向、都市部の病院に戻れなくなるのではないかとする将来への不安等

地域医療支援センターの目的と体制

- 都道府県が責任を持って医師の地域偏在の解消に取り組むコントロールタワーの確立。
- 地域枠医師や地域医療支援センター自らが確保した医師などを活用しながら、キャリア形成支援と一体的に、地域の医師不足病院の医師確保を支援。
- 専任の実働部隊として、喫緊の課題である医師の地域偏在解消に取り組む。

・人員体制：専任医師2名、専従事務職員3名

・設置場所：都道府県庁、〇〇大学病院、都道府県立病院等



地域医療支援センターの役割

- 都道府県内の医師不足の状況を個々の病院レベルで分析し、優先的に支援すべき医療機関を判断。医師のキャリア形成上の不安を解消しながら、大学などの関係者と地域医療対策協議会などにおいて調整の上、地域の医師不足病院の医師確保を支援。
- 医師を受入れる医療機関に対し、医師が意欲を持って着任可能な環境作りを指導・支援。また、公的補助金決定にも参画。

地域枠の医学部入学定員(※)の推移



(※) 医学部の定員増として認められた分であり、このほか、既存の定員等を活用し都道府県と大学が独自に設定した地域枠もある。

- 平成24年度現在、全国20道府県の地域医療支援センターの運営に対する支援を実施している。
- 平成23年度以降、20道府県で合計723名の医師を各道府県内の医療機関へあっせん・派遣をするなどの実績を上げている。(平成24年11月末時点)
- 平成25年度は、先行実施県での事業実施状況を踏まえ、支援センター事業がより広域的に推進されるとともに、各県支援センター間のネットワークが形成されるよう、10箇所増の30箇所に対する運営経費について支援することとしている。

地域医療支援センターについて

1 趣旨（現状・目的・効果）

- 【現状・課題】
- 山梨大学医学部地域枠、医師修学資金制度などにより医師数は増加見込み
 - 医師の高度・専門医療への志向等を背景に、地域偏在が生じている
 - 地域偏在の解消、若手医師の定着には、キャリア形成を支援しながら、医師不足病院の支援を行う仕組みの構築が必要
- 【目的】
- 地域枠医師等のキャリア形成支援と一体的に地域の医師不足病院の医師確保を支援
- 【効果】
- 医師の地域偏在の解消
 - 若手医師の県内定着の促進

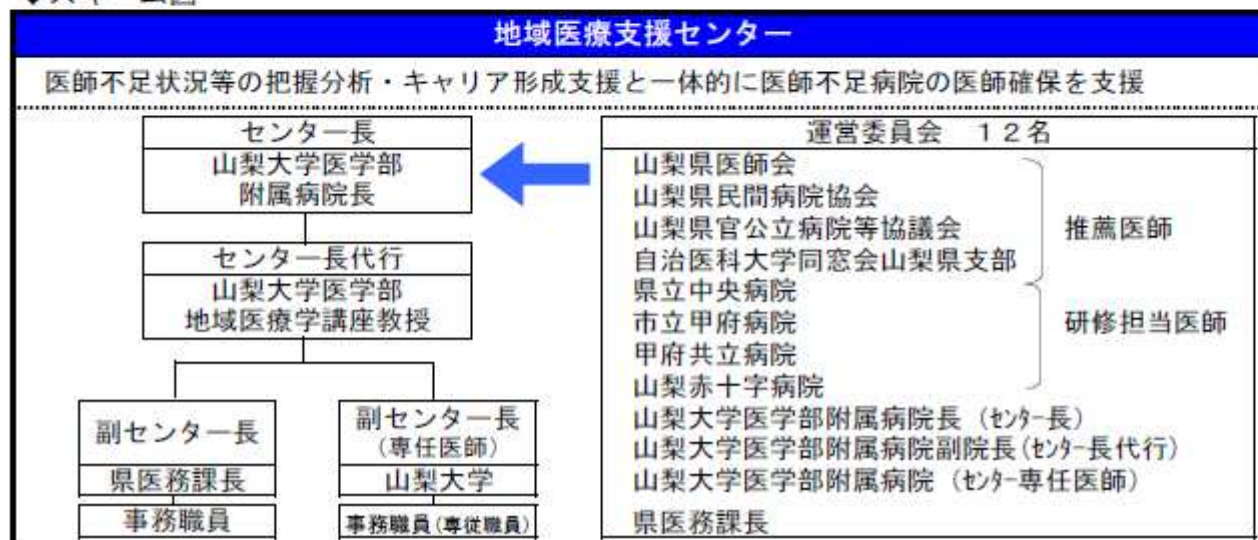
2 地域医療支援センターの概要

医師の地域偏在解消と定着促進を図るため、山梨大学と連携し、キャリア形成と医師不足病院の医師確保を一体的に支援する地域医療支援センターを設置する。

- ◆開設日 平成25年4月
- ◆実施主体 山梨県（事業を山梨大学等に委託）
- ◆設置場所 山梨県福祉保健部医務課、山梨大学医学部
- ◆職員体制

センター長	山梨大学医学部附属病院長	センター長代行	山梨大学医学部地域医療学講座教授
専任医師	1名（山梨大学臨床教育センター長）	専従職員	1名（山梨大学）

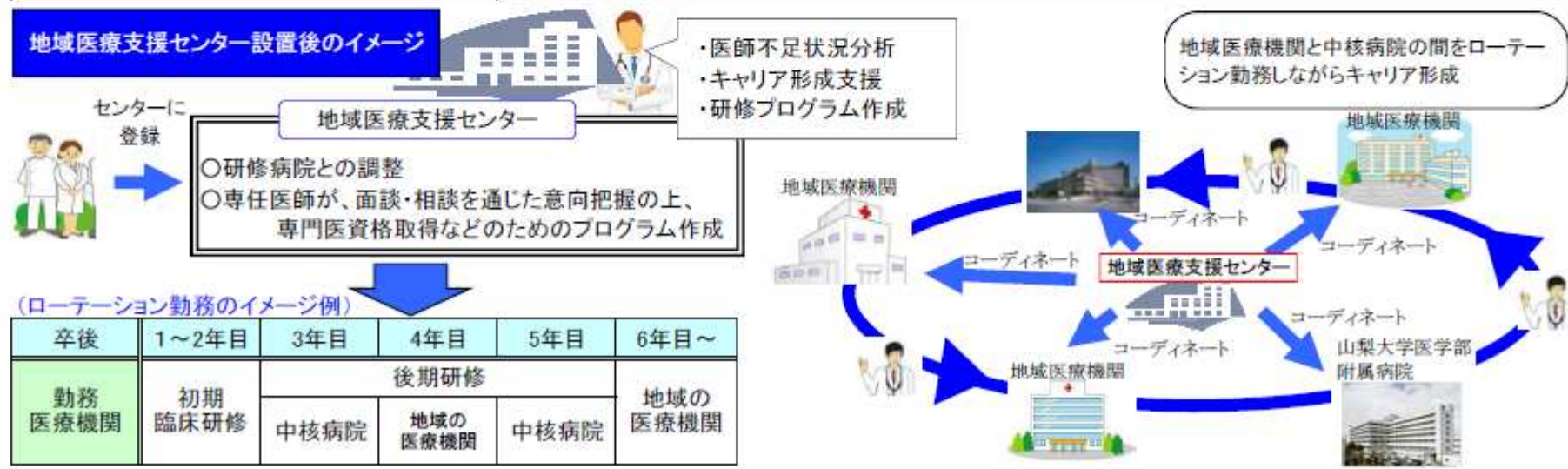
◆スキーム図



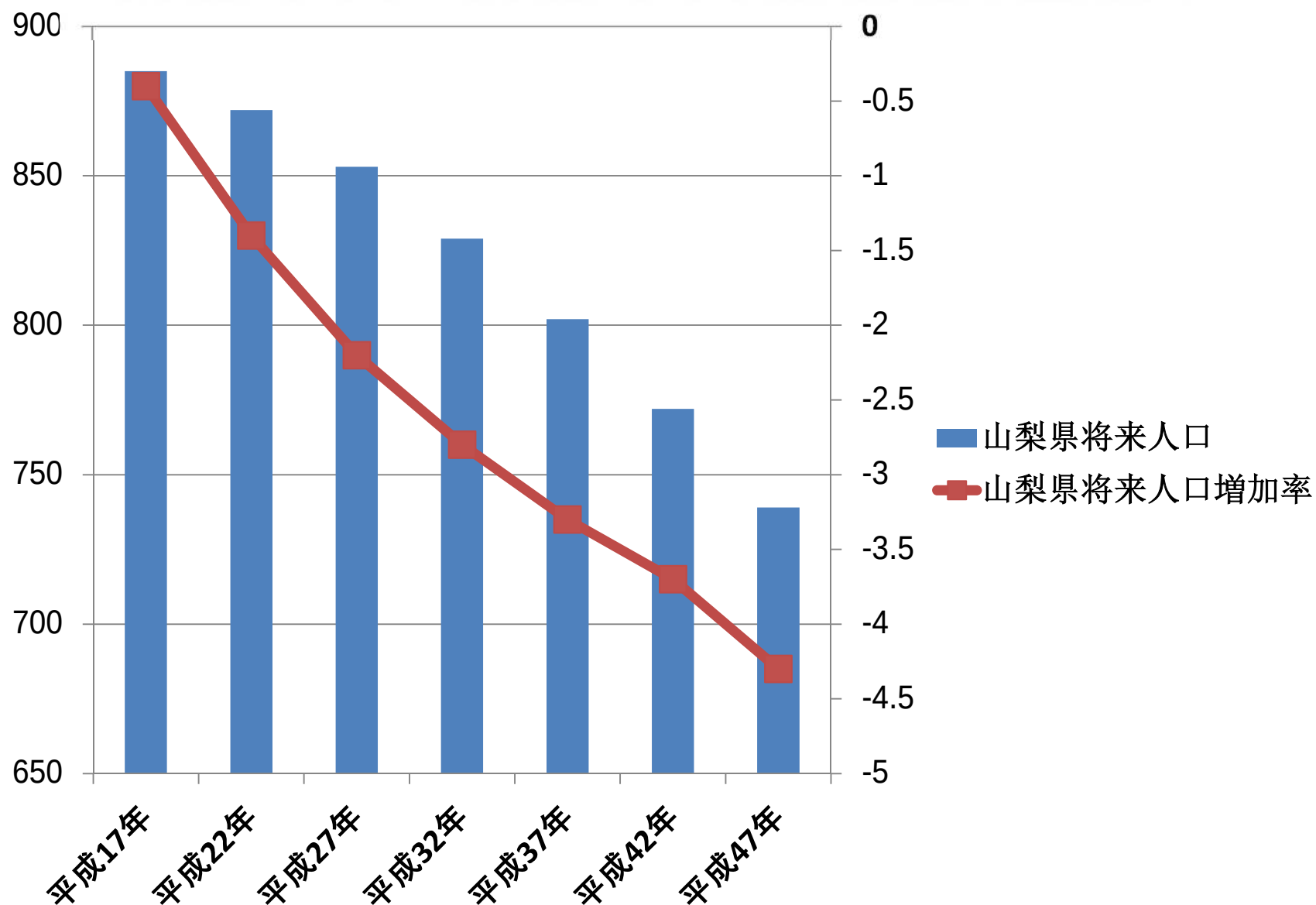
◆事業内容・経費

事業	概要
地域医療支援センター運営 (専任医師1名、専従職員1名等)	医師不足状況等を医療機関レベルで詳細に把握・分析、地域枠医師等のキャリア形成支援等
臨床研修体制整備事業	医師のキャリア形成支援のための研修体制整備
臨床研修指導医養成事業	地域医療に従事した経験のある医師を指導医として養成するため、講習会を開催
キャリア形成支援セミナー開催	地域枠医学生等を対象に、地域医療従事への意識と関心を高めるため、セミナーを開催
若手医師医療技術向上研修会開催	若手医師の県内定着促進を図るため、県内の全臨床研修医による合同研修会を開催
臨床研修プログラム開発	地域の医師不足病院と県内中核病院との間をローテーション勤務する研修プログラムを開発
地域医療情報発信事業	センター事業を周知するため、ウェブサイトを開設
医学部進学セミナー開催事業	医学部進学者増加を図るため、中高生を対象に医療現場におけるセミナーを開催
運営委員会開催	センターを医療関係者の合意の下で効果的に運営するため、運営委員会を開催

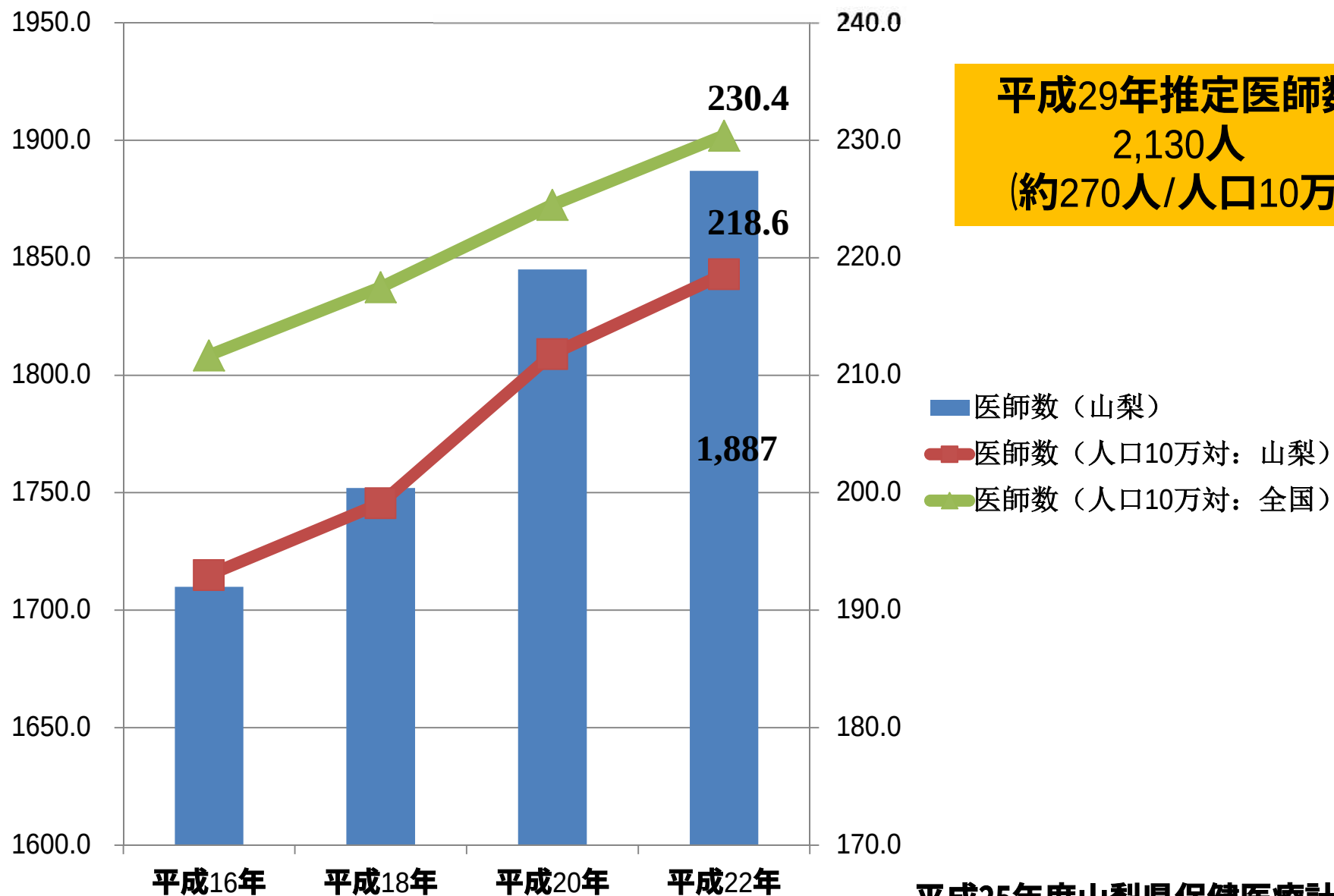
地域医療支援センター設置後のイメージ



将来人口、将来人口増加率(全県)

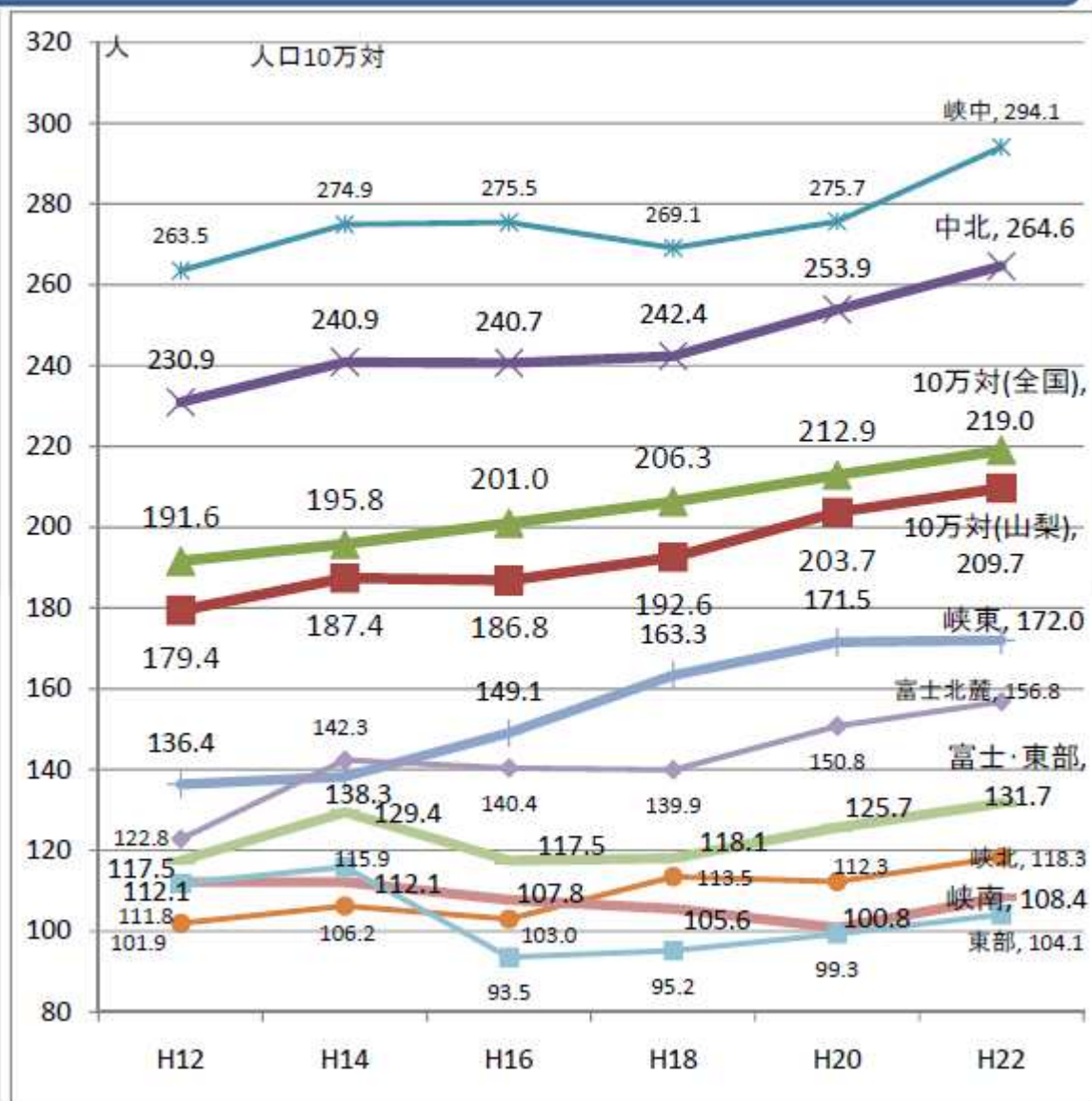
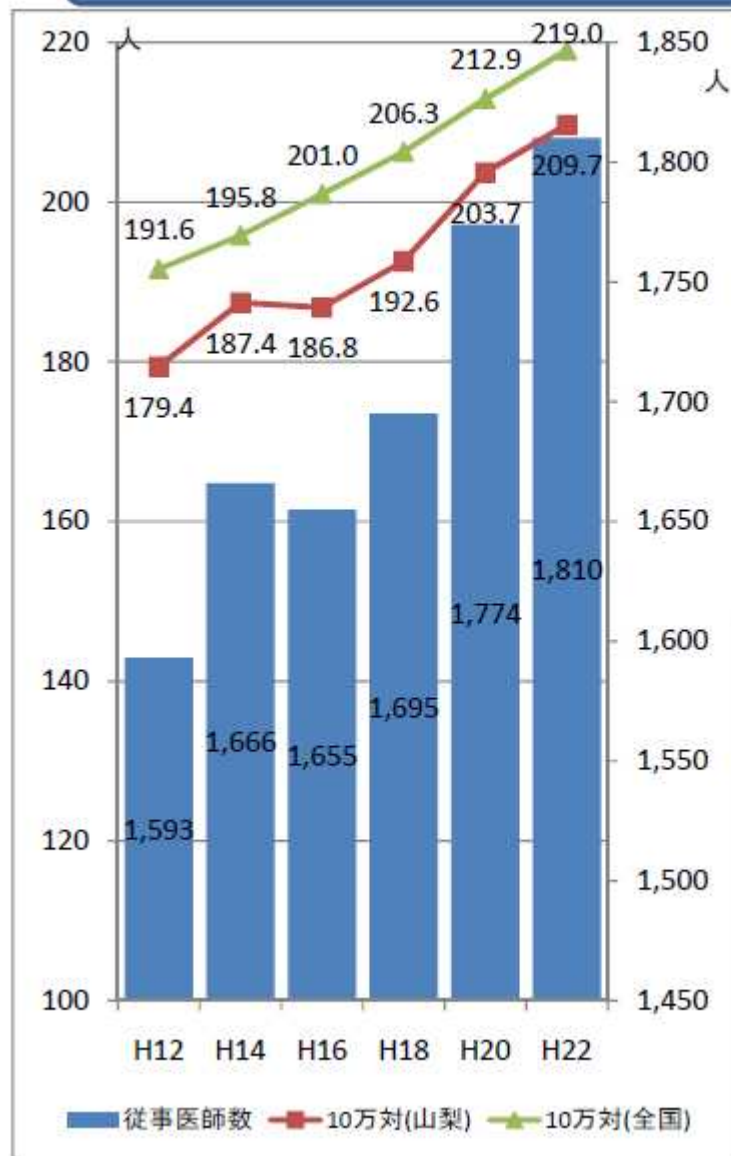


医師数(全県)

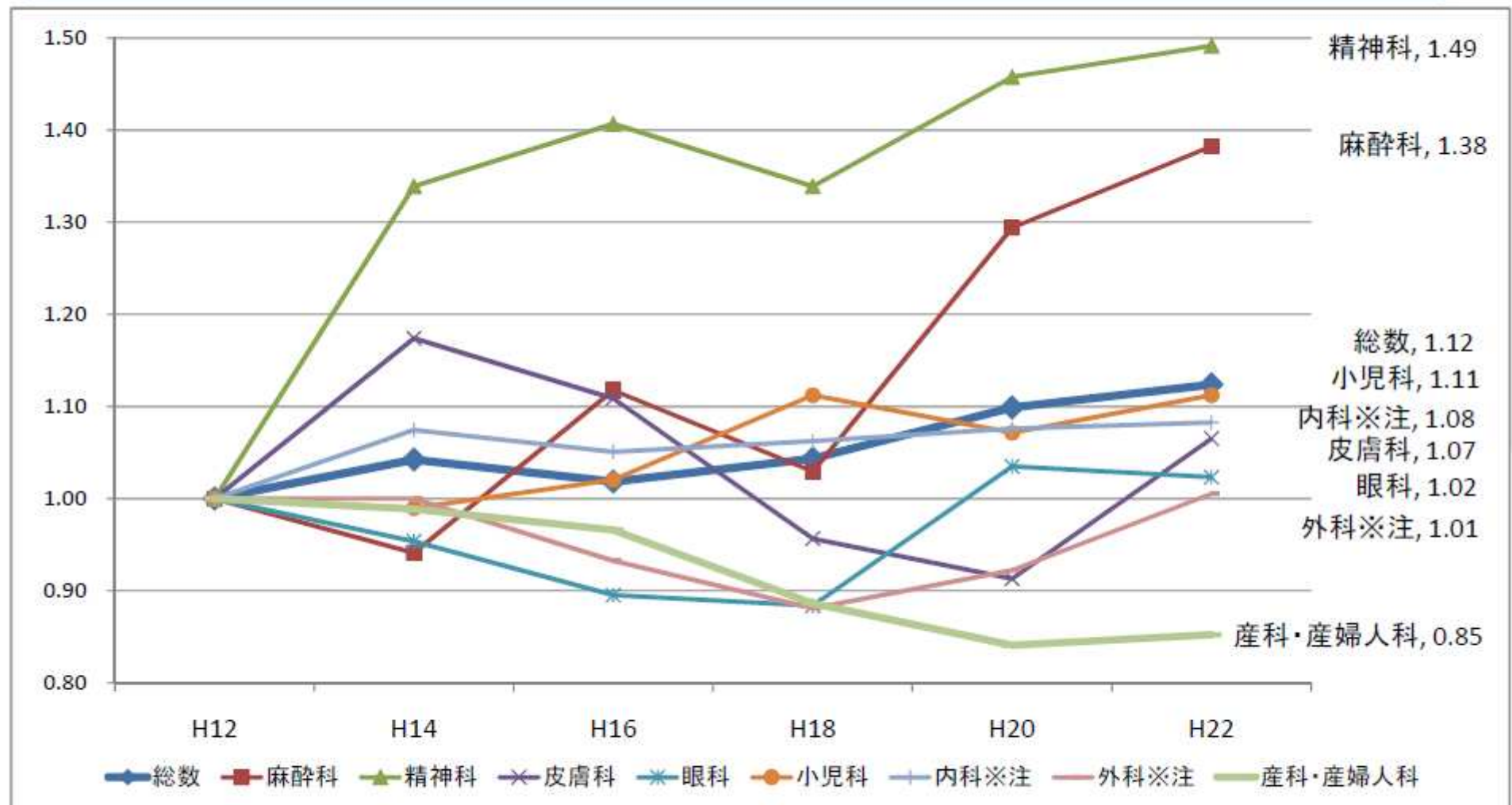


平成25年度山梨県保健医療計画

～医療施設従事医師数・地域別～



～診療科別従事医師数推移～ ※H12を1.0とした場合



内科※注 H12～H18は、内科、呼吸器科、循環器科、消化器科(胃腸科)、神経内科、アレルギー科、リウマチ科、心療内科
H20、H22は、内科、呼吸器・循環器・消化器・腎臓・糖尿病・血液・感染症内科、アレルギー、リウマチ、心療内科、神経内科

外科※注 H12～H18は、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道科、こう門科、小児外科
H20、H22は、外科、呼吸器・心臓血管・乳腺・気管食道・消化器・肛門・小児外科

2. 地域医療支援センターに係る情報交換会

平成25年7月22日

航空会館

47都道府県、地域医療支援センター関係者が参加

厚生労働省 医政局 指導課
医師確保等地域医療対策室

地域医療支援センターに 求められる取り組み

- 医師不足状況等の把握・分析
- 医学修学資金貸与者への対応
- 医師不足病院の支援
- 医師のキャリア形成支援
- 情報発信と相談への対応

各県における地域医療支援センターの取り組み

	調査・分析	修学資金運用			医師確保・派遣		臨床研修体制整備		キャリア形成支援			総合診療医育成
	医師不足状況等調査・分析	修学資金貸与者配置業務・支援	研修医・医師支援資金貸与	特定診療科医師支援	医師不足病院への派遣・調整	県外医師招致ドクターバンク	指導医養成・研修	臨床研修医合同研修	キャリアアッププログラム	女性医師支援	医学部進学支援	
北海道	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
青森		○			○				○		○	○
岩手		○			○	○	◎	◎	○		○	○
宮城		○				○		○	○		○	
福島	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
茨城					○		○	○	○	○	○	△
群馬	△	△		○	○	△	△		△		○	
埼玉		○		○	○	○			△	△	△	
千葉	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
新潟		○		○		○				○		○
石川		△	○	○		○	△			○	△	
山梨	○	△	×	△	△	○	○	○	△	△	○	×
長野	○	○				○		○		○	○	◎
岐阜		◎					○	○	○			
静岡	△	○					△		△	△	△	
三重	△	○	○				△		○			
滋賀		○		○					○	◎		
京都	△	○	◎	○	○			○	○	○		◎
大阪		△	○	◎						○		
奈良	△	△		○		○			△	○	○	△
和歌山	△	○			○			△	○			
島根	○	○	○			○			△			
岡山	○	○	○		○	△			○	○		○
広島								○		○		
徳島	△	○	○	○			○		○	○	○	
愛媛		△							△			
高知		○							○			
長崎	○								△			△
大分	△	○	○			○				○	○	○
宮崎		○		○								◎

医師不足状況等の把握・分析

- 医師歯科医師薬剤師調査 (複数県)
- 医師長期需要予測調査 (千葉県)
- 必要医師数実態調査 (北海道)
- 勤務医師実態調査 (島根県)
- 受入病院の経営分析 (岡山県)

医師不足病院の支援

- ドクターバンク（複数県）
- 指導医育成（講習会・FD・研修会開催）（複数県）
- 岐阜県医師育成・確保コンソーシアム
修学資金受給者の配置・指導が中心
- バディホスピタルシステム（三重県）
支援病院から医師不足病院への医師派遣
- 自治体病院医師確保研修資金貸与制度（千葉県）
- 福島県特定診療科医師研究資金（産科・小児科・麻酔科対象）
- 勤務医医師負担軽減対策事業（三重県）
病院勤務医の負担軽減を図るための取り組みを支援
- 勤務環境改善支援（宮崎県）
二次救急医療機関での医師事務作業補助者の採用支援

医師のキャリア形成支援

- 臨床研修病院合同セミナー
- いわてイーハトーヴ臨床研修病院群 (岩手県)
- 専門医研修ネットワークプログラム (宮崎県)
- 就職支援センター医療技術研修事業 (千葉県)
- 福島県女性医師再就業支援事業

総合診療医育成

- いわてイーハトーヴ総合診療医養成
- 総合医・家庭医養成事業（千葉県）
- 信州型総合医養成プログラム
- 三重県地域医療研修センター（METCH）
- 地域医療セミナー（大分県）
- 地域枠学生・自治医科大学大学生合同セミナー（岡山県）
- 地域医療を担う研修医を育てるためのワークショップ（岡山県）

3. 山梨県地域医療支援センターの取り組み

山梨大学臨床教育センター

板倉 淳

医師適正配置指標の策定

ドクター
マップ

- ・ 医師情報管理システム
- ・ 研修医・専修医情報管理システム

医師歯科医師薬剤師調査

健康
ハザード
マップ

- ・ 地域別年齢階級別構成
- ・ 疾病別罹患率予想
- ・ 死因別構成割合
- ・ 傷病分類別受療率予想

山梨県地域保健医療計画

医師
適正
配置
指標

山梨県専門医養成プログラムの策定

医師適正配置指標

日本専門医機構

山梨県専門医養成プログラム

地域医療支援
奨学金

研究・留学支援
奨学金

内科

外科

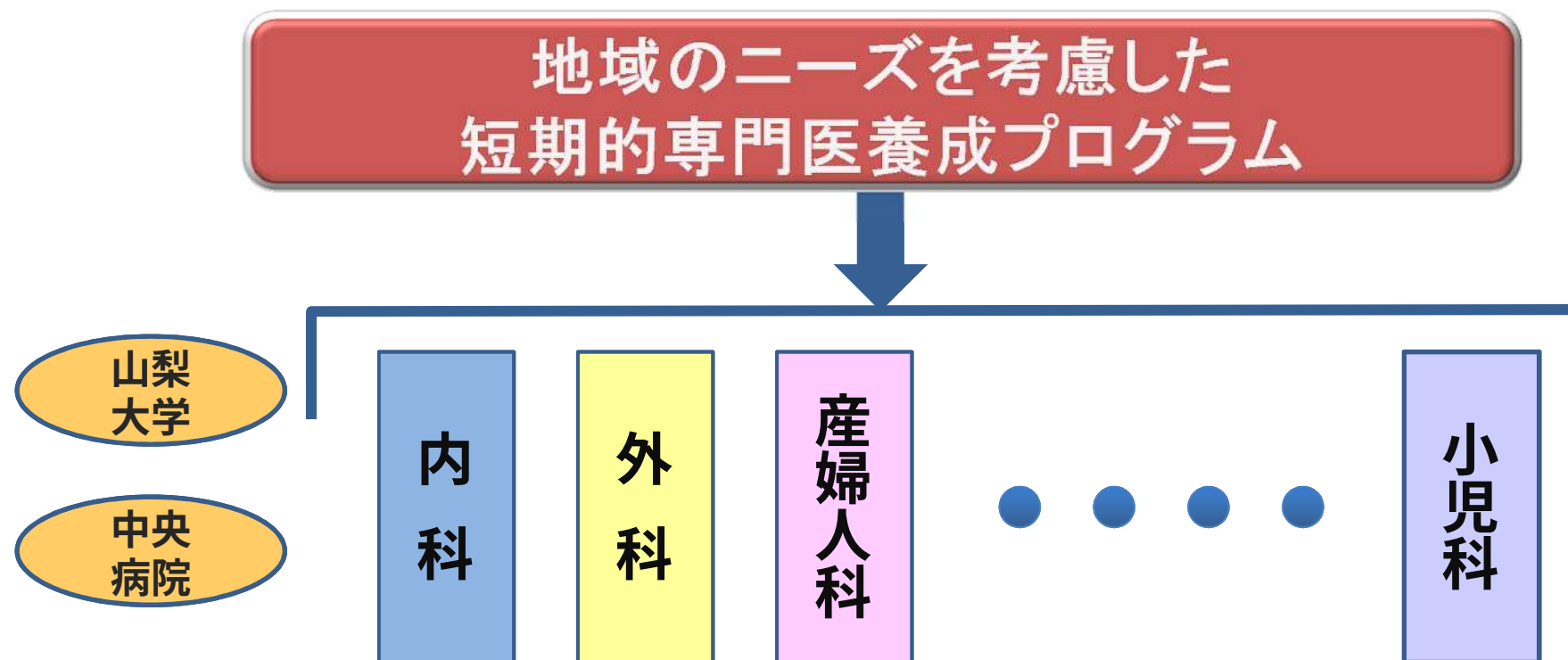
産婦人科

● ● ● ●

小児科

総合診療

山梨県専門医養成プログラムの策定

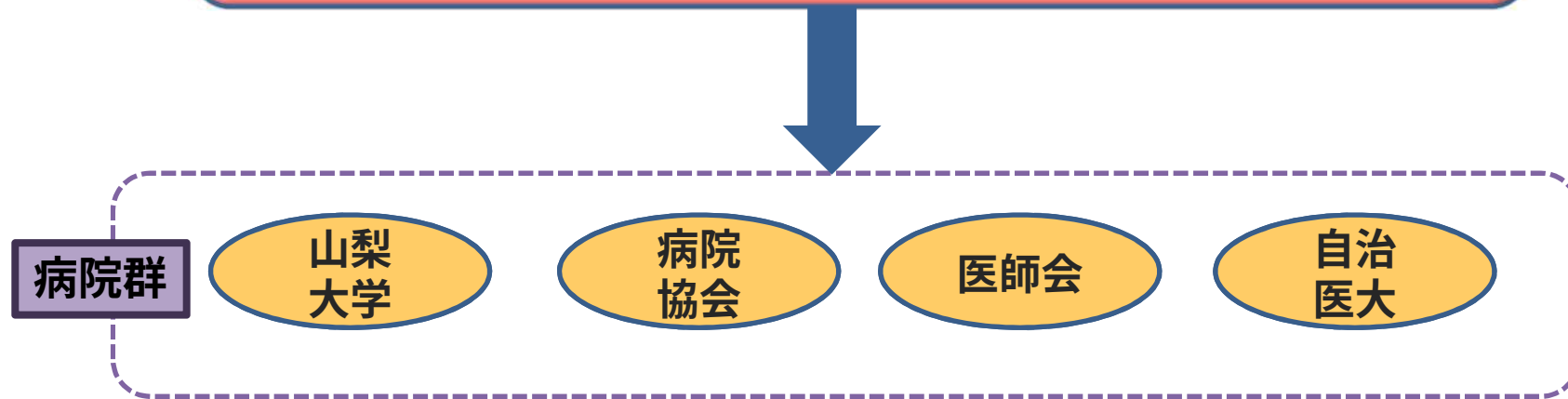


山梨大学・県立中央病院を中心として、専門医取得を目的とするとともに地域病院をローテーションする事による医師不足対策を図る。(産婦人科専攻医研修プログラム)

育てつつ、活かしつつ

山梨県専門医養成プログラムの策定

超高齢化社会に対応した
中・長期的な総合診療医の養成



特定機能病院と地域包括ケアチームとの間で、ゲートキーパーとなる救急初療能力を有する**病院総合診療医**の養成

地域包括ケアチームのリーダーとなる**総合診療医** (かかりつけ医) の養成、再教育

4. 今後の課題

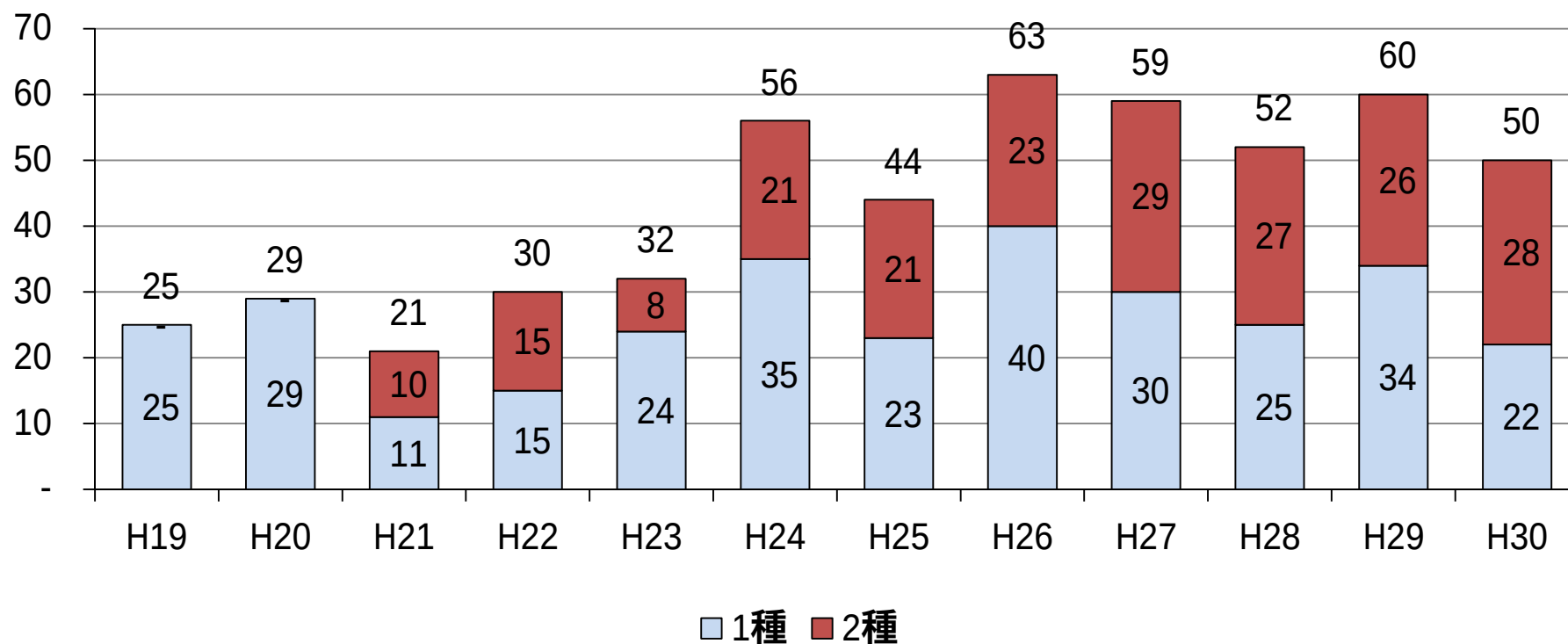
医学修学資金貸与者への対応

山梨大学臨床教育センター

板倉 淳

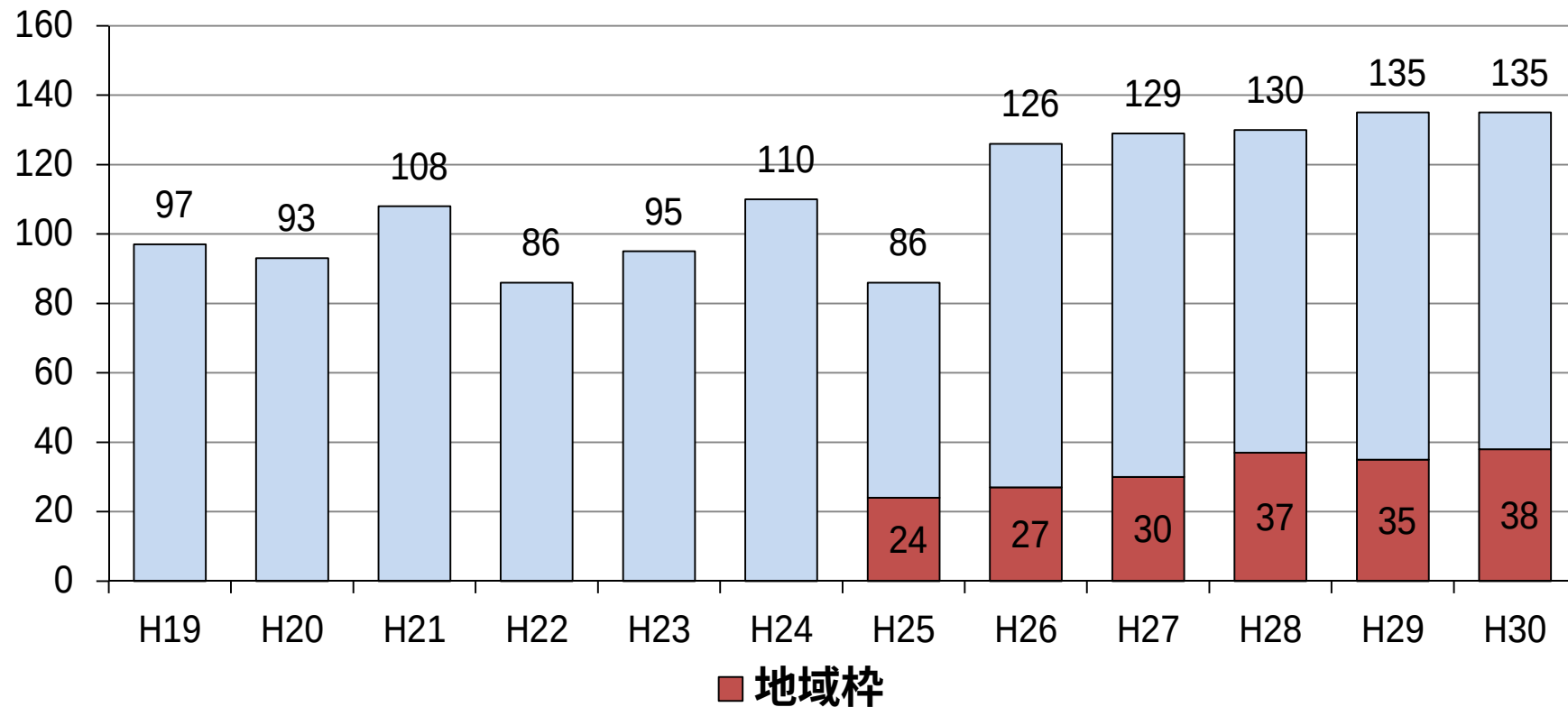
医師修学資金貸与者 卒業生数 (実績・見込み)

- 貸与者の卒業生数は、H24年度末56人、H25年度末44人(見込み)
- H26年度末以降は、50人規模が卒業していく見込み
- 修学資金の種別ごとでは、H24年度末以降、第2種(月額13万円、義務年限9年)が20人超



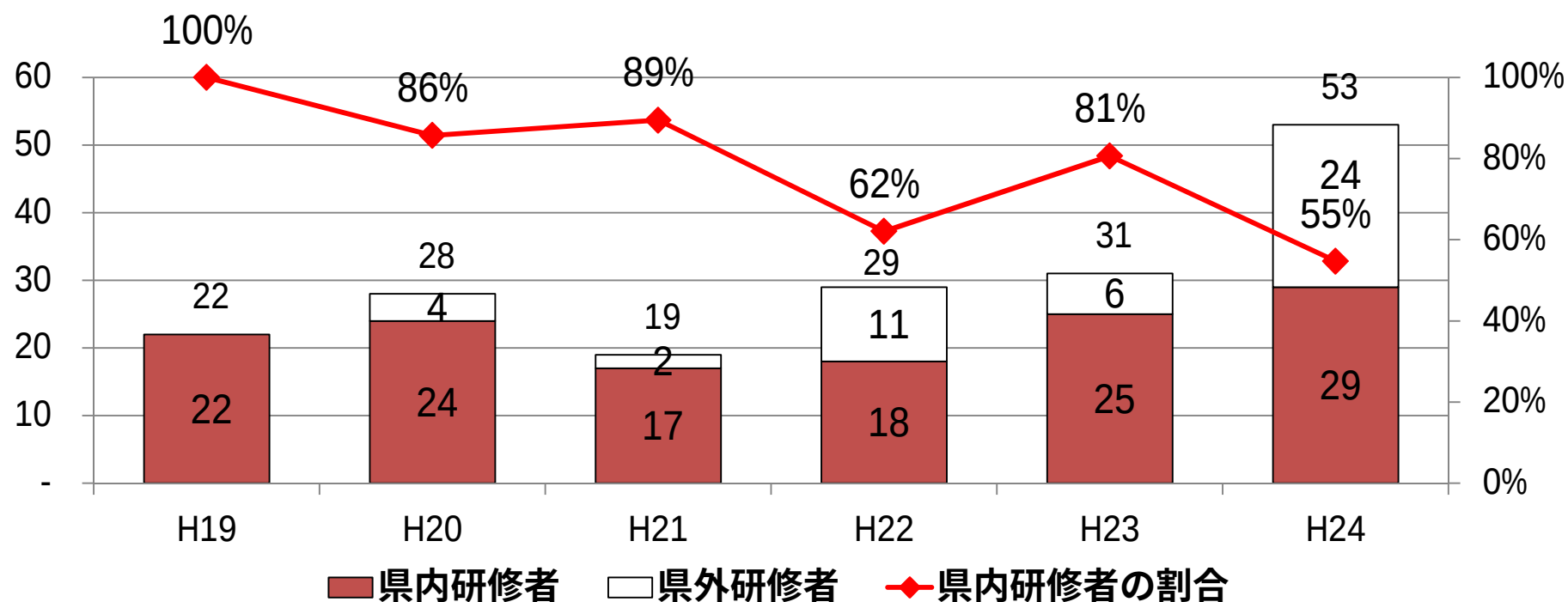
山梨大学医学部卒業生数と地域枠

- H24年度の卒業生数は110人
- H25年度の卒業予定者数は86人であり、例年に比べ少ない
- H25年度末から地域枠医学生が卒業



医師修学資金貸与者 卒業後の研修先 (県内・県外、全体)

○ 卒業後の研修先は、H24年度末の卒業生53人中、29名(55%)が県内病院で研修



地域枠入学者を中心とした 医学修学資金貸与者を医師適正配置へ 有効活用するためのプログラムの策定

- 貸与者への教育
地域医療研修・地域医療医師との交流会 等
- 貸与者への情報提供
プログラム説明会
- 貸与者との個別相談によるプログラム策定

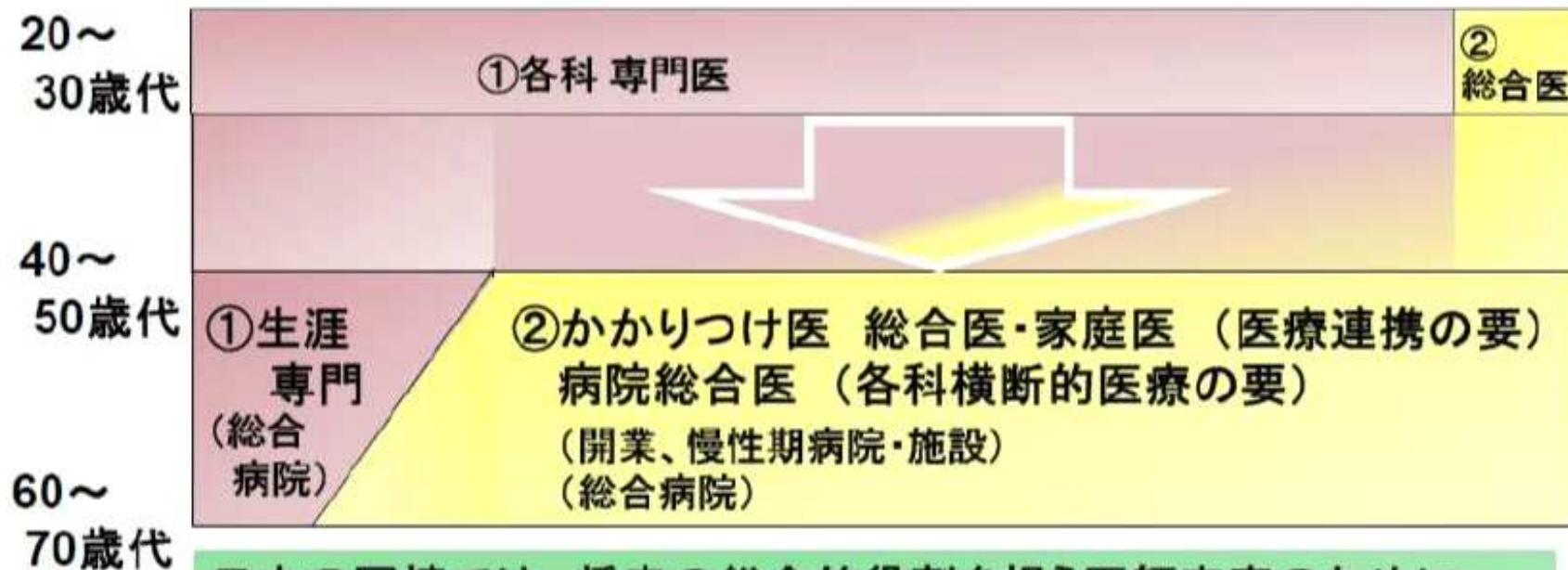
4. 今後の課題

総合診療医養成プログラム

山梨大学臨床教育センター

板倉 淳

日本では、ほとんどが当初、専門医となり、
その後多くが50歳前後までに総合的役割に転じている

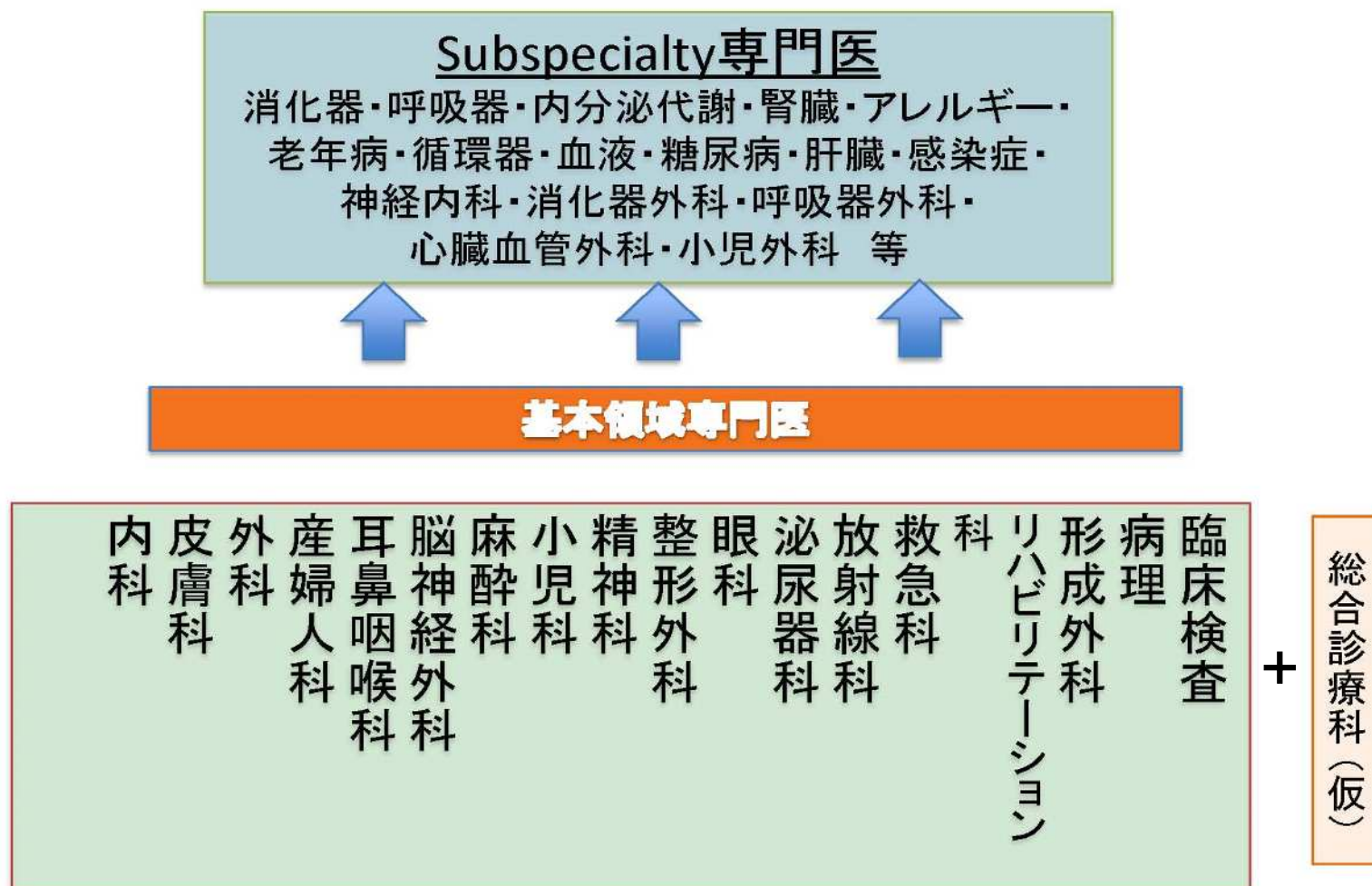


日本の国情では、将来の総合的役割を担う医師充実のために
『総合力のある専門医』育成も必要(教育体制からも)

①②の育成バランス重要。

すべての医学生～生涯教育 医師として当然の総合力重視必須。

新たな専門医制度の基本設計



専門医の在り方に関する検討会
(平成23年11月4日)
池田康夫委員提出資料より

総合診療専門医認定制度ロードマップ

日本プライマリ・ケア連合学会改訂後期研修プログラム

purqaimari	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
現行制度					採用停止			
								廃止
	移行措置あり		移行措置あり			運用・認定試験		
新制度	プログラム 認定 認定作業				採用停止			
								廃止
						運用・認定試験		
Board認定	Board認定	基準作成	プログラム 認定	研修医募集	採用開始			
								第1回認定試験

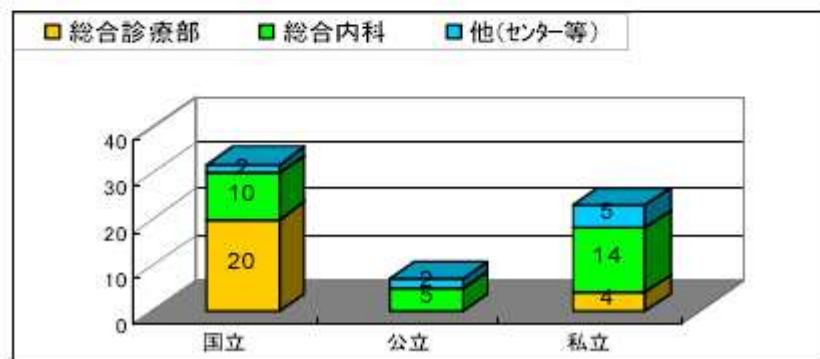
研修プログラムの1例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目 後期研修	必須内科						必須小児科			必須救急		
2年目 後期研修	総合診療専門研修Ⅰ(診療所・小病院) ＋領域別研修(1日/周)【精神科・皮膚科】											
3年目 後期研修	総合診療専門研修Ⅱ (病院総合診療部門)						領域別研修 【整形外科】			領域別研修 【産婦人科】		

大学病院における総合診療部(科)の設置推移、設置形態



出典: 医学教育課調(H25.7.1現在)



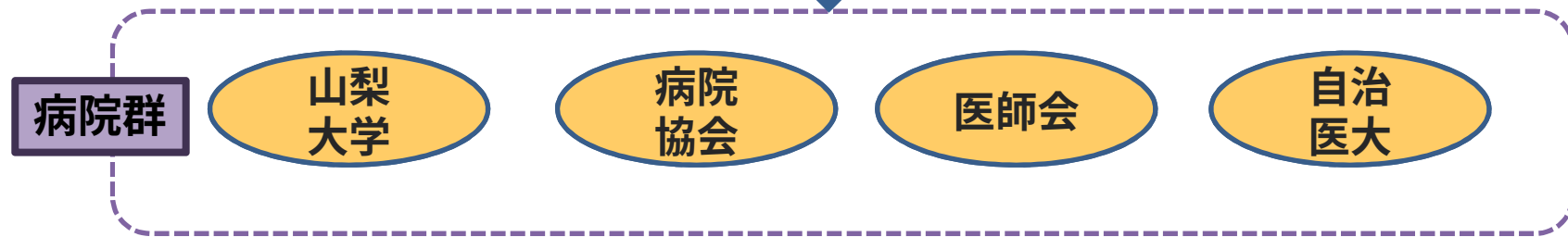
○国公立の医系大学病院【本院】において、総合診療部(科)または、これに類する診療科等を病院の一組織として設置している病院を集計。

(公立大学病院においては、横浜市立大学附属市民総合医療センターを含む。)

(所属科不明の諸種症候・疾患に対して、臓器別専門科へ紹介することだけを目的とした診療科等を設置する大学病院も含む。)

山梨県専門医養成プログラムの策定

超高齢化社会に対応した
中・長期的な総合診療医の養成



特定機能病院と地域包括ケアチームとの間で、ゲートキーパーとなる救急初療能力を有する**病院総合診療医**の養成

地域包括ケアチームのリーダーとなる**総合診療医** (かかりつけ医) の養成、再教育